

会計名		刈谷の魅力発信事業				担当部	市民活動部		
一般会計						担当課	文化観光課		
款	項					目	担当係	文化振興係	
2	1					2		観光係	
PLAN概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	計画推進						
		基本施策	情報共有						
		施策の内容	広報・広聴の充実						
	目的	刈谷が持つ地域資源の魅力を生かして、市内内外へ発信し、住みたい、住み続けたい、訪れてみたいまちを目指し、定住人口の増加へ繋げる。		主たる内容	○歴史文化PRブースの出展 市内内外のイベント等で刈谷の歴史文化を紹介するPRブースを出展する。 ○刈谷城盛上げ隊の運営 市内内外のイベント等へ参加出演する刈谷城盛上げ隊を運営する。 ○東吉野村交流事業 刈谷市民と東吉野村民が天誅組に関する史跡等を交互に訪問する。				
	位置づけ	関連計画 刈谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略、第2次刈谷市文化振興基本計画							
	根拠法令								
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成25年度～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B D O 実績	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		・PRブース出展 ブース出展回数 11回 ・東吉野村交流事業 東吉野村訪問 28人 刈谷市来訪 22人 ・刈谷城盛上げ隊 出演回数 36回		・PRブース出展 ブース出展回数 10回 ・東吉野村交流事業 刈谷市来訪 21人 ・刈谷城盛上げ隊 歴史博物館出演 12回 市内催事出演 20回 ・「刈谷遺産」作成 6,000部 ・フォトスタンプラリー 参加者数 29人		・PRブース出展 ブース出展回数 2回 ・東吉野村交流事業 中止 ・刈谷城盛上げ隊 歴史博物館出演 10回 市内催事出演 19回 ・啓発品作成 マスクケース 300枚		・PRブース出展 ブース出展回数 3回 ・刈谷城盛上げ隊 歴史博物館出演 12回 市内催事出演 23回 ・東吉野村交流事業 刈谷市来訪対応	
成果		・市内内外のイベント等において、刈谷城盛上げ隊の出演により刈谷市の魅力をPRできた。 ・刈谷城盛上げ隊を運営することで歴史文化の啓発に努めた。また、活動拠点を歴史博物館とし歴史文化の啓発の一翼を担った。							
課題		・現在の刈谷城盛上げ隊の運用方策が、他に類似事例が無いため、費用検証が難しい。							
指標		指標名称（単位）		実績値			目標値		
活動指標	PRブース出展、刈谷城盛上げ隊出演回数（回）		30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
成果指標	刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合（％）		33.2	—	30.0	46.0	46.0		
他市との比較検証	本市の魅力に合わせた独自の取り組みであるため、他市と比較できない。								
C コスト	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費①		5,841	5,580	5,098	5,525	合計	5,097,950円	
	財源	特定財源	3	0	0	0	需用費	403,150円	
		一般財源	5,838	5,580	5,098	5,525	委託料	4,694,800円	
	職員人件費②		7,021	7,471	1,717	4,897			
	総事業費（①+②）		12,862	13,051	6,815	10,422			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0							
4年度以降の事業費見込		0							

会計名			刈谷の魅力発信事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	文化振興係
2	1	2			観光係
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		普通	歴史文化を啓発することで、市民に郷土の歴史文化に誇りを持ってもらい、地域の活性化を図る一助とする。 また、愛知県が武将観光を推進しており、本市においても盛上げ隊を活用し、地域資源のPRを推進していることから、県と市で一体的に取り組んでいる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	事業を委託することで職員の負担の軽減を図った。 また、盛上げ隊の隊員にボランティアを採用することでコストを抑えつつ、幅広い人材を確保することができた。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	事業を通じて、総合計画にある「まちの歴史に対する認知度を高める必要」に応えることができる。 また、市が目指す持続可能な発展のためには定住促進が必要であるが、そのための取組である魅力発信は、市が主体的に実施すべきである。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	各種イベントにおいて、甲冑を着用した存在感の強い武将隊が、演舞等を披露しながら刈谷の魅力を発信できるので、訴求力が高く、施策への貢献度は高い。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
定住促進に資する取り組みとして本市の歴史文化を幅広い人にPRしてきたが、今後は、現取組が適切かどうか検討する必要がある。					

会計名			観光協会補助事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	文化観光課		
款	項	目					担当係	観光係		
7	1	2								
PLAN概要 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業振興							
		基本施策	観光							
		施策の内容	「ふるさと刈谷」の魅力向上と発信							
	目的	民間団体が実施する観光振興のための活動を支援することで、市民サービスの向上及び市の活性化を図る。	主たる内容	○刈谷市観光協会が行う観光事業等に要する経費の補助						
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画、刈谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略							
		根拠法令								
		対象者	刈谷市観光協会	事業期間	平成10年度～					
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B D O 実績 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		・主催、共催等事業 桜まつり、西三河フォークジャンボリー、大名行列・山車祭、万燈祭、わんさか祭り、刈谷アニメcollection、野田雨乞笠おどり、わたしの刈谷展、刈谷駅イルミネーション ・観光案内所運営		・主催、共催等事業 桜まつり、西三河フォークジャンボリー、万燈祭、わんさか祭り、刈谷アニメcollection、野田雨乞笠おどり、わたしの刈谷展、刈谷駅イルミネーション ・観光案内所運営		・主催、共催等事業 刈谷アニメcollection（オンライン開催）、刈谷駅イルミネーション ※桜まつり他6催事は中止 ・観光案内所運営		・主催、共催等事業 刈谷駅イルミネーション ※桜まつり他7催事は中止 ・観光案内所運営		
成果		・補助金を交付することによって、観光協会が行う刈谷の魅力向上や情報の発信に寄与した。								
課題		・市と観光協会の役割分担を明確化する必要がある。 ・観光協会に対し、コロナ禍での催事運営方策等の情報提供を実施し、安全な補助対象事業の運営に向けた指導をする必要がある。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			30年度	元年度	2年度	3年度	5年度			
成果指標	主催・共催事業来場者数等（人）		386,365	309,980	31,400	22,000	480,000			
指標										
他市との比較検証	観光協会が主催・共催する催事数が多く、また、催事規模も大きいことから、近隣市町と比較して補助金額が突出して高くなっている。【参考】安城市：15,400千円、碧南市：600千円、東浦町：2,400千円									
C 事業 コスト 建設 事業	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳			
	事業費 ①		114,772	111,602	35,066	94,165	合計 35,066,300 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 35,066,300 円			
		一般財源	114,772	111,602	35,066	94,165				
	職員人件費 ②		3,086	2,696	2,725	2,411				
	総事業費（①+②）		117,858	114,298	37,791	96,576				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
2年度までの累積事業費		0								
4年度以降の事業費見込		0								

会計名			観光協会補助事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	観光係
7	1	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		普通	本市の観光振興を図るためには、市内業者や団体と連携を密にして推進する必要がある。観光協会は市内主要業者等で構成されており、その目的も総合的な観光振興によるまちづくりへの寄与とあるため、公益性も高いと判断していることから本事業は必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	観光事業は時代潮流に合わせた対応が求められる分野であるため、行政が実施するよりも効率的な対応が可能となっている。また、観光協会は様々な団体から構成されているため、各種団体との連携が必要な場合に協力等が得られやすい。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	当該団体の補助対象事業は、一定の公平性及び公益性が担保されていることから、その事業に対する補助金の交付は適正と考えている。また、総合計画及び観光推進基本計画にも当該団体との連携が示されていることから妥当性は高いと判断している。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	総合計画及び観光推進基本計画に観光協会との連携は明記されている。また、当該団体の補助対象事業は、本市が目指す観光交流に寄与している現状からも施策への貢献度は高い。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
市と観光協会の役割が明文化されていないことから、今後は、それぞれの役割の明確化のため、国や県、他市町の事例等を参考に調査研究するとともに、適宜、市の観光振興との整合性を考慮しつつ補助対象事業の内容検証に努める必要がある。					

会計名 一般会計			歴史文化観光行事等開催補助事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	文化観光課	
7	1	2					担当係	観光係	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	観光						
		施策の内容	観光資源の発掘と活用						
	目的	各種保存団体が開催する歴史文化行事に対して補助することで、伝統文化の保存、継承及び観光の振興による地域活性化を図る。			主たる内容	○各種保存団体が主催する行事に要する経費の補助			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画						
		根拠法令							
		対象者	各保存会		事業期間	～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		・大行列・山車祭 開催日 5月3日 来場者数 44,000人 ・刈谷万燈祭 開催日 7月28日・29日 来場者数 55,000人 ※7月28日は台風で中止 ・野田雨乞笠おどり 開催日 8月26日 来場者数 600人		・刈谷万燈祭 開催日 7月27日・28日 来場者数 55,000人 ※7月27日は台風で中止 ・野田雨乞笠おどり 開催日 8月25日 来場者数 600人		・大行列・山車祭 中止 ・刈谷万燈祭 中止 ・野田雨乞笠おどり 中止		・大行列・山車祭 中止 ・万燈祭 開催日 9月18日・19日 ・野田雨乞笠おどり 中止	
成果		・（万燈祭）新型コロナウイルスの影響により催事は中止となったが、一部補助金を交付することで、文化の保存継承に寄与した。							
課題		・（共通）後継者育成など団体の自立を促すことで協賛金の確保などの自主財源を確保し、各催事等の運営が可能となるよう指導していく必要がある。 ・行事を開催するのみで、観光資源として活用できていない。 ・ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた運営指導等をしていく必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
成果指標		刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合（％）		33.2	—	30.0	46.0	46.0	
活動指標									
他市との比較検証		近隣市における同様の祭事支援額としては、突出して高い。【参考】豊田市：裸まつり200千円、西尾市：三河一色大提灯まつり1,700千円、鳥羽の火祭り550千円							
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		10,740	5,534	315	9,768	合計		315,000 円
	財源	特定財源	0	0	157	300	負担金、補助及び交付金		315,000 円
		一般財源	10,740	5,534	158	9,468			
	職員人件費 ②		4,244	2,465	560	527			
	総事業費（①+②）		14,984	7,999	875	10,295			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0		地域創造助成金					
4年度以降の事業費見込		0							

会計名			歴史文化観光行事等開催補助事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	観光係
7	1	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	担い手や支援者の減少により、祭りが衰退傾向にあるため、祭り開催を支援することは、伝統文化の保存継承と後継者育成といった面で必要性が高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	本事業の目的達成のための支援規模が適正であるか、各保存会の補助金の支出内容を精査する必要がある。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	市及び県の無形民俗文化財に指定されている祭りの保存継承のための補助は必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	万燈祭や野田雨乞笠おどりは刈谷の伝統的な祭りであり、当該祭りの開催支援は、総合計画等にも示されている。また、祭りが継続することで、歴史的資源として活用できる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
今後は、協賛金などの自主財源のさらなる確保による資金面での自立を促すなど、各保存会の育成に努める必要がある。					

会計名 一般会計			文化芸術団体育成事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	文化観光課	
10	6	1					担当係	文化振興係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	活動の支援体制の充実						
	目的	様々な文化創造活動を行う市民が所属する刈谷文化協会や刈谷音楽協会を支援し、文化創造活動の活性化を図る。			主たる内容	○刈谷文化協会の事業及び運営に対する補助 ○刈谷音楽協会の事業に対する補助 ○わたしの刈谷展入賞者への表彰 ○新型コロナウイルス対策を講じるための文化芸術活動支援金(200,000円/団体)の交付			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令							
		対象者	刈谷文化協会、刈谷音楽協会		事業期間	平成30年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 D 実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・刈谷文化協会への団体補助</li> <li>・刈谷音楽協会実施事業に対する補助</li> <li>第14回刈谷音楽祭</li> <li>第12回刈谷音楽協会演奏会</li> <li>・「わたしの刈谷展」受賞作品の報償金授与</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・刈谷文化協会への団体補助</li> <li>・刈谷音楽協会実施事業に対する補助</li> <li>第15回刈谷音楽祭</li> <li>第13回刈谷音楽協会演奏会</li> <li>・「わたしの刈谷展」受賞作品の報償金授与</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術活動支援金の交付200,000円×2団体</li> <li>・刈谷文化協会への団体補助</li> <li>・刈谷文化協会が市制施行70周年記念事業として実施した催事に対する補助</li> <li>・刈谷音楽協会実施事業に対する補助</li> <li>※事業中止のため、準備経費のみ補助</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術活動支援金の交付200,000円×2団体</li> <li>・刈谷文化協会への団体補助</li> <li>・刈谷文化協会が市制施行70周年プラス1事業として実施する催事に対する補助</li> <li>・刈谷音楽協会実施事業に対する補助</li> </ul>	
成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術活動支援金を刈谷文化協会、刈谷音楽協会に交付したことにより、コロナ禍における文化芸術活動への支援を行った。</li> <li>・刈谷文化協会が主催する市民文化祭を支援したことにより、多くの市民が文化芸術に触れる機会を提供することができた。</li> </ul>							
課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により刈谷文化協会、刈谷音楽協会主催の事業が中止となったため、コロナ禍でも開催ができるよう今後も支援を継続する必要がある。</li> <li>・高齢化に伴う会員数の減少が顕著な団体もあり、新規会員の確保が課題である。</li> </ul>							
指標		指標名称（単位）		実績値			目標値		
成果指標	日頃から文化や芸術に親しんでいる市民の割合（％）		30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
指標			47.8	—	41.1	53.0	53.0		
他市との比較検証	文化協会について、刈谷市は195万円を補助。近隣市では碧南市：175万円、安城市：170万円、知立市：335万円を補助している。 また音楽協会について、岡崎市では音楽団体への補助は文化協会の補助金に含まれており、市は文化協会へ対象経費の1/2以内（上限220万円）を補助している。								
C 事業 コスト	単位：千円	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳			
	事業費 ①	2,869	2,950	2,488	3,010	合計 2,488,415 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 2,488,415 円		
		一般財源	2,869	2,950	2,488	3,010			
	職員人件費 ②	1,312	1,155	821	1,130				
	総事業費（①+②）	4,181	4,105	3,309	4,140				
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
	2年度までの累積事業費		0						
	4年度以降の事業費見込		0						

会計名			文化芸術団体育成事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	文化振興係
10	6	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		普通	様々な文化創造活動を行う市民が所属する刈谷文化協会や刈谷音楽協会を支援することは、本市の文化振興を図るためには必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	刈谷文化協会は、文化振興指導員が事務局を務めており、事業運営や経理など適正に行われている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	市民が文化芸術に触れる機会を提供する刈谷文化協会及び刈谷音楽協会を支援することは妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	市民が文化芸術に触れる機会を提供することで、本市の文化振興に寄与することができた。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
刈谷文化協会や刈谷音楽協会を支援することは、本市の文化振興を図るためには必要であるため、引き続き支援を継続する。					

会計名 一般会計			国指定文化財保護増殖事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	文化観光課		
10	6	2					担当係	文化振興係		
								歴史博物館		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用							
	目的	国指定天然記念物である小堤西池カキツバタ群落の保護増殖を図るため、調査を含めた各種保護対策を実施し、植生を適切な状態に保つ。			主たる内容	○保存対策調査委員会による植生調査・保護対策 ○調査委員会の指導に基づく小堤西池の水質水位の継続調査 ○カキツバタ保護増殖のための池や東側丘陵地の除草や清掃等 ○カキツバタ開花期における警備や駐車場案内等				
	関連計画	小堤西池カキツバタ群落保存活用計画、第2次刈谷市文化振興基本計画								
	位置づけ 根拠法令	文化財保護法								
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		・保存対策調査委員会の開催 2回 ・水質調査 ・水位調査 ・除草、清掃作業 6日間 ・丘陵地の樹木伐採		・保存対策調査委員会の開催 2回 ・水質調査 ・水位調査 ・除草、清掃作業 6日間 ・丘陵地の樹木伐採 ・カキツバタ遺伝子調査 ・活動用地の取得 433㎡		・保存対策調査委員会の開催 2回 ・水質調査 ・水位調査 ・除草、清掃作業 6日間 ・丘陵地の樹木グリッド伐採 ・調査報告書の作成 ・活動用地の取得 1,812㎡		・保存対策調査委員会の開催 2回 ・水質調査 ・水位調査 ・除草、清掃作業 6日間 ・丘陵地の樹木伐採		
成果		・懸案であった用地を取得することができ、除草活動における利便性が向上した。 ・除草作業にはコロナ禍ではあったが、地元「小堤西池のカキツバタを守る会」のほか、企業ボランティアをはじめ多くの市民が参加した。 ・カキツバタ開花期には、以前に比べ開花エリアに広がりが出てきた。								
課題		・東側丘陵地に、竹や常緑樹が増殖しているため、池への湧水が減少している。 ・地球温暖化などの影響により、池及び東側丘陵地の環境が変化しつつあり、動植物の種類が減少しつつある。 ・池に生息していなかったコイやミンシビアカミミガメ等によるカキツバタに対する食害及び池の水質悪化が課題であるが、効果的な駆除方法がなく対応に苦慮している。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
活動指標		ボランティア参加数（人）			317	287	207	210	320	
成果指標		見学者数（人）			9,614	7,631	6,427	7,000	10,000	
他市との比較検証		・知立市「八橋かきつばた園」令和2年度はコロナの影響により、かきつばたまつり期間は閉園。H29年度に育成不良に陥っていたカキツバタは6割ほどまでに回復してきた。 ・豊橋市「葦毛湿原」保存会ボランティア参加数（令和2年度延べ769人）コロナ禍においても活動は継続。								
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		6,937	9,775	14,531	8,637	合計	14,530,661 円		
	財源	特定財源	0	0	5,438	10	報償費	131,000 円		
		一般財源	6,937	9,775	9,093	8,627	需用費	315,440 円		
	職員人件費 ②		1,813	4,313	5,226	3,390	委託料	8,648,221 円		
	総事業費（①+②）		8,750	14,088	19,757	12,027	公有財産購入費	5,436,000 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	2年度特定財源名称				
2年度までの累積事業費			0	前年度繰越金						
4年度以降の事業費見込			0							

会計名			国指定文化財保護増殖事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	文化振興係
10	6	2			歴史博物館
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	文化財保護法において、国指定天然記念物の保護は法的業務である。 また、カキツバタは刈谷市の花で市民にも馴染みが深いことから、保護増殖を図る必要がある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	地元有志による守る会に日常管理を委託する体制を取っており、直営で実施するよりもコストが節減でき、継続的かつ効果的な保護活動が可能である。市民協働の点からも最適な手段である。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	国指定の文化財であるので、国、県との調整が必要であるとともに、調査委員会、守る会との連携も必要であるため、市が主体となって実施すべき事業である。また総合計画でも、カキツバタ群落の保存を掲げており、本事業の実施は妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	開花時期にはメディアにも取り上げられ、市の魅力発信に繋がっている。また、地元の守る会をはじめとする市民の保護への意識も向上している。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
保存対策調査委員会による調査・研究の成果をカキツバタ群落の保護対策に反映するとともに、地域住民によって組織される守る会及びボランティアと一体となって保護事業を継続する。 市内唯一の国指定天然記念物の保護・増殖を図るため、自然環境の維持保全の重要性を今後も継続して啓発する。 池の水源確保や外来種の増加に対して、保存対策調査委員会や守る会と対策を協議し、必要な調査を継続的に実施する。					

会計名 一般会計			依佐美送信所記念館ガイド事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	文化観光課	
10	6	2					担当係	文化振興係	
								歴史博物館	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	市内外の来館者に依佐美送信所の歴史と展示機器の機能や構造を学ぶ機会を提供し、無線通信への親しみと理解を深め、貴重な産業遺産としての価値を後世に伝える。			主たる内容	○館内ガイド ○依佐美送信所関連資料の展示 ○ガイドボランティアへの活動支援			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成20年度～			
		実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	B 事業 D 実績 O 計画 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		・ガイドボランティアによる館内ガイド実施日数 120日 ・館内ガイド利用者数 2,279人 ・来館者数 29,267人		・ガイドボランティアによる館内ガイド実施日数 132日 ・館内ガイド利用者数 2,737人 ・市内中学1年生見学ガイド 来館者数 29,490人		・ガイドボランティアによる館内ガイド実施日数 114日 ・館内ガイド利用者数 485人 ・市内中学1年生見学ガイド 中止 来館者数 17,799人 ・展示機器清掃		・館内ガイド利用者数 1,000人 ・来館者数 20,000人	
成果		・ガイドがあることで様々な目的の来館者に対応することができ、好評価を得ている。 ・テレビ、広報紙等から取材の申し込みにより依佐美送信所記念館をPRすることができた。							
課題		・コロナの影響により年間を通じてほとんど館内ガイドが実施できなかった。 ・館内ガイド以外にも、産業遺産としての情報発信方法を考える必要が生じている。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
活動指標	ガイドボランティア会員数（人）		44	46	49	49	49		
成果指標	ガイド利用者数（人）		2,279	2,737	485	1,000	2,300		
他市との比較検証	依佐美送信所記念館と同じく産業をテーマとしている豊田市産業とくらし発見館においては、ボランティアによるガイドは実施していないため、運営手法の比較が難しい。								
C 事業 コスト V	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		884	101	973	131	合計	973,282 円	
	財源	特定財源	0	0	0	10	需用費	265,402 円	
		一般財源	884	101	973	121	役務費	680 円	
	職員人件費 ②		386	385	448	452	委託料	320,000 円	
	総事業費（①+②）		1,270	486	1,421	583	備品購入費	387,200 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0							
4年度以降の事業費見込		0							

会計名			依佐美送信所記念館ガイド事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	文化振興係
10	6	2			歴史博物館
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>	普通	「依佐美の鉄塔」が建っていた当時を記憶している市民も多く、送信所でどのようなことが行われていたのかを説明することで、刈谷の歴史に対する理解を深めることができる。ガイドボランティアと協働することで、地域からも愛される記念館運営となっている。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>	高い	ガイドボランティアの会に委託することで、低いコストでガイド事業を実施している。ガイド事業の計画や反省もガイドボランティアの会自身が行っており、効率的な運営が行われている。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>	普通	依佐美送信所記念館の施設管理は、指定管理者によって行われているが、ガイド事業は専門性が求められることから、指定管理者による運営は難しい。自主的に活動しているボランティアに対し、ガイドを委託する体制は有効である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>	高い	依佐美送信所記念館は、開館以来多くの賞を受賞している。そのため市外・県外からの来館者も多く、機械ではなく人による案内があることで刈谷の貴重な文化資源のPRが効果的に行われ、刈谷市の知名度向上に繋がっている。	
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
・ガイドボランティアは自発的に知識や記憶の継承・資料化を行っており、市はサポートを継続していく。					

会計名			観光施設等管理事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	文化観光課		
款	項	目					担当係	観光係		
7	1	2								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	産業振興							
		基本施策	観光							
		施策の内容	「ふるさと刈谷」の魅力向上と発信							
	目的	刈谷市及び衣浦定住自立圏の活性化を目指し、各観光施設の充実を図る。			主たる内容	○オアシス館刈谷の管理経費 ○万燈蔵、観光倉庫等の管理経費				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画							
			根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成30年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	D 実績	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>土地借上げ料</li> <li>火災保険料</li> <li>電気料</li> <li>オアシス館シアターシステム更新</li> <li>観光案内板等修繕</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>土地借上げ料</li> <li>火災保険料</li> <li>電気料</li> <li>情報検索端末パソコン等更新</li> <li>観光案内板等修繕</li> <li>第二観光用倉庫フェンス撤去</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>土地借上げ料</li> <li>火災保険料</li> <li>電気料</li> <li>オアシス館シアター機器修繕</li> <li>観光案内所電動アシスト自転車購入</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>土地借上げ料</li> <li>火災保険料</li> <li>電気料</li> <li>観光案内所コムス置場原状回復修繕</li> </ul>		
成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>オアシス館のシアター放映内容を更新し、来館者へ刈谷の観光情報を発信した。</li> <li>観光案内所電動アシスト自転車を買替えることで、利用者サービスの向上を図った。</li> </ul>								
課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>オアシス館刈谷で実施している情報発信のための展示内容が恒常化している。</li> <li>今後は、刈谷ハイウェイオアシス内にあるという立地上の特性を活かした展示等の方策を検討する必要がある。</li> </ul>								
指標		指標名称（単位）				実績値		目標値		
					30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
成果指標	オアシス館刈谷来場者数（人）				513,500	484,050	266,300	680,000	680,000	
活動指標										
他市との比較検証	倉庫や施設の規模等が異なるため、他市と単純に比較することは難しい。									
C 事業コスト	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳			
	事業費①		2,519	2,363	2,503	2,223	合計 2,503,425 円			
	財源	特定財源	292	289	290	299	需用費 114,721 円			
		一般財源	2,227	2,074	2,213	1,924	役務費 31,078 円			
	職員人件費②		278	308	373	331	委託料 306,900 円			
	総事業費（①+②）		2,797	2,671	2,876	2,554	使用料及び賃借料 1,673,322 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
2年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料						
4年度以降の事業費見込		0		光熱水費実費徴収金 鉄道高架下倉庫等賃借料						

会計名 一般会計			広域観光推進事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	文化観光課	
7	1	2					担当係	観光係	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	観光						
		施策の内容	「ふるさと刈谷」の魅力向上と発信						
	目的	広域的な視点での観光施策の充実や地域のつながりを強め、地域活性化を目指す。			主たる内容	○衣浦定住自立圏の観光関連事業に伴う経費 ○西三河広域観光推進協議会の運営負担金			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画						
		根拠法令	西三河広域観光推進協議会規約						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成27年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>西三河広域観光推進協議会サイト「西三河ぐるっとナビ」の運営及び充実</li> <li>スタンプラリーの実施</li> <li>西三河フォークジャンプリーへの出展</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>西三河広域観光推進協議会サイト「西三河ぐるっとナビ」の運営及び充実</li> <li>協議会総合ブースの西三河9市1町内イベントへの出展</li> <li>定住自立圏観光パンフレット「るるぶきぬうら」改訂</li> <li>定住自立圏連携イベントへの出展</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>西三河広域観光推進協議会サイト「西三河ぐるっとナビ」の運営及び充実</li> <li>西三河広域観光推進協議会主催の「西三河ぐるっとグルメスタンプラリー」の冊子作成</li> <li>定住自立圏共生ビジョン改訂内容の検討</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>西三河広域観光推進協議会サイト「西三河ぐるっとナビ」の運営及び充実</li> <li>西三河広域観光推進協議会主催の「西三河ぐるっとグルメスタンプラリー」の実施</li> <li>定住自立圏出展等交流事業の実施</li> </ul>	
成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>西三河広域観光推進協議会公式サイト「西三河ぐるっとナビ」で情報発信を継続したほか、西三河のグルメの魅力発信と誘客促進を目指し、グルメスポットを巡る冊子を作成した。</li> <li>第2次共生ビジョン策定に向け構成市町と協議し、新たな施策を含む3つの施策案を作成した。</li> </ul>							
課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>情報発信サイトを有効に活用し、認知度の向上及び利用促進に取り組む必要がある。</li> <li>発信力の強化と周遊観光促進により交流人口を拡大する各取組を実施しているが、その効果の検証が不十分である。</li> <li>合意形成に時間を要する。</li> <li>各市町で観光に対する考え方が異なるため協議会としての方向性が定めにくい。</li> </ul>							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
活動指標		ホームページアクセス数（件）		302,783	265,475	316,401	390,000	390,000	
指標									
他市との比較検証		近隣市町で共同で実施する事業であるため、他市と比較できない。							
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		418	4,921	393	1,185	合計 393,000 円		
	財源	特定財源	0	2,040	0	0	負担金、補助及び交付金 393,000 円		
		一般財源	418	2,881	393	1,185			
	職員人件費 ②		964	1,617	1,605	1,582			
	総事業費（①+②）		1,382	6,538	1,998	2,767			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0		衣浦定住自立圏構成市町負担金					
4年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			民俗芸能啓発事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	文化観光課		
10	6	1	担当係	文化振興係						
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	文化・芸術							
		施策の内容	創作・発表の機会づくり							
	目的	無形民俗文化財保存団体等の活動を支援し、先人がこれまで培ってきた郷土の文化財の保存・伝承を図る。			主たる内容	○無形民俗文化財の保存団体等が国民文化祭等の大会に出演する経費に対する補助				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画							
		根拠法令								
		対象者	無形民俗文化財保存団体等		事業期間	平成22年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>各団体に披露や啓発の募集の情報提供</li> <li>申請の事務補助</li> <li>8月20日（野田雨乞笠おどり保存会） 催事名：ぼくたち、わたしたちのニッポンの祭り2018 開催地：東京都</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>各団体に芸能大会等のイベントの情報提供</li> <li>申請の事務補助</li> <li>2月1日（小垣江山車保存会） 催事名：あいち山車まつり未来博2020 開催地：名古屋市</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>各団体に芸能大会等のイベントの情報提供</li> <li>申請の事務補助</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>各団体に芸能大会等のイベントの情報提供</li> <li>申請の事務補助</li> </ul>		
成果		県をはじめとする補助金制度の情報提供と申請手続きの補助をすることで、本市の文化財の保存・伝承を図ることができた。								
課題		無形民俗文化財の保存団体等へ制度の周知を図っていく。								
指標名称（単位）		実績値			目標値					
活動指標	出演支援回数（団体）	30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	1	1	1	
他市との比較検証	民俗芸能大会等への出演に際し、市町村から補助金の交付を受けていない団体が多いことから、本市は、他市に比べて手厚い支援ができています。									
C 事業コスト	単位：千円	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳				
	事業費 ①	42	11	0	300	合計 0円				
	財源	特定財源	0	0	0	0				
		一般財源	42	11	0	300				
	職員人件費 ②	386	231	0	226					
	総事業費（①+②）	428	242	0	526					
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称					
	2年度までの累積事業費		0							
	4年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			史跡管理事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	文化観光課		
10	6	2					担当係	文化振興係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系		分野	教育文化						
			基本施策	歴史・文化財						
			施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的		史跡を適切に管理するとともに、文化財を市内外へ向けて広報することで、文化財の保護と啓発普及を図る。			主たる内容	○史跡の維持管理及び剪定等の管理委託			
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
	対象者					事業期間	令和元年度 ~			
	実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O ハ 実 施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
				<ul style="list-style-type: none"> <li>於大の方由緒の地、宮城道雄供養塔、穴戸弥四郎碑の樹木剪定</li> <li>椎の木屋敷跡、於大の方由緒の地、宮城道雄供養塔、穴戸弥四郎碑、加藤与五郎生家跡の樹木管理</li> <li>椎の木屋敷跡の設備管理等</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>宮城道雄供養塔の樹木剪定</li> <li>椎の木屋敷跡、於大の方由緒の地、宮城道雄供養塔、穴戸弥四郎碑、加藤与五郎生家跡の樹木管理</li> <li>椎の木屋敷跡の設備管理等</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>椎の木屋敷跡他の樹木剪定</li> <li>椎の木屋敷跡、於大の方由緒の地、宮城道雄供養塔、穴戸弥四郎碑、加藤与五郎生家跡の樹木管理</li> <li>椎の木屋敷跡の設備管理等</li> </ul>		
成果		・市が保有する史跡を適切に管理することで、文化財の保護を図ることができた。								
課題		・住宅に近接する史跡が多く、樹木の生育状況等によっては近隣住民からの苦情に発展する場合がある。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
活動指標		史跡管理数（箇所）				—	5	5	5	5
活動指標										
他市との比較検証		・史跡の保有状況は各自治体によって異なるため、比較が難しい。								
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	3,979	4,482	4,856	合計 4,482,439 円			
	財源	特定財源	0	9	9	18	需用費 58,339 円			
		一般財源	0	3,970	4,473	4,838	役務費 7,930 円			
	職員人件費 ②		0	231	821	301	委託料 4,406,600 円			
	総事業費（①+②）		0	4,210	5,303	5,157	使用料及び賃借料 9,570 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
2年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料						
4年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			史跡整備事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	文化観光課		
10	6	2					担当係	文化振興係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系		分野	教育文化						
			基本施策	歴史・文化財						
			施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的		史跡等を適切に整備することで、文化財の保護と活用を図る。 補正目的 加藤与五郎生家跡を一体的に整備する。		主たる内容	補正内容 ○加藤与五郎生家跡の一部を新たに取得するための土地購入費 ○取得した土地を一体利用するための外構等整備工事費				
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	令和2年度 ~ 令和2年度				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		_____		<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレ照明器具のLED化（椎の木屋敷跡）</li> <li>・生垣撤去及びフェンス設置（宮城道雄供養塔）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・加藤与五郎生家跡地の購入</li> <li>・加藤与五郎生家跡整備工事</li> </ul>		_____		
成果		・加藤与五郎生家跡の残された一画を取得することができ、本来の生家跡全体を保全することができた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
活動指標		整備工事数			—	2	1	—	—	
活動指標										
他市との比較検証		・史跡の保有状況は各自治体によって異なるので、比較が難しい。								
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	1,946	20,623	0	合計	20,623,020 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	10,000 円		
		一般財源	0	1,946	20,623	0	工事請負費	2,964,500 円		
	職員人件費 ②		0	539	2,986	0	公有財産購入費	17,648,520 円		
	総事業費（①+②）		0	2,485	23,609	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
2年度までの累積事業費		0								
4年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			施設管理事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	文化観光課		
10	6	10					担当係	文化振興係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	文化・芸術							
		施策の内容	文化芸術の拠点づくり							
	目的	十朋亭を市民の憩いの場として提供できるよう管理することで、文化の向上及び福祉の増進を図る。			主たる内容	○受付等業務委託 ○施設・設備管理				
	関連計画									
	位置づけ	根拠法令	刈谷市十朋亭条例・刈谷市十朋亭条例施行規則							
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	昭和47年度～				
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>受付等業務委託</li> <li>夜間受付等業務委託</li> <li>空調設備保守業務委託</li> <li>消防用設備保守管理委託</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>受付等業務委託</li> <li>夜間受付等業務委託</li> <li>空調設備保守業務委託</li> <li>消防用設備保守管理委託</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>受付等業務委託</li> <li>夜間受付等業務委託</li> <li>施設保守点検業務委託</li> <li>消防設備点検業務委託</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>受付等業務委託</li> <li>夜間受付等業務委託</li> <li>施設保守点検業務委託</li> <li>消防設備点検業務委託</li> </ul>		
成果		年代を問わず、四季を通じて会合、レクリエーション、休憩等で多くの方の利用に供し、住民の福祉の増進を図ることができた。								
課題		亀城公園再整備計画の中で、一体的に施設のあり方を検討する必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
活動指標		提供した時間区分数（回）			751	562	172	300	300	
指標										
他市との比較検証		類似の施設がなく、比較が難しい。								
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		5,240	4,958	5,252	5,612	合計	5,252,092 円		
	財源	特定財源	704	579	166	384	需用費	648,409 円		
		一般財源	4,536	4,379	5,086	5,228	役務費	50,774 円		
	職員人件費 ②		4,629	4,621	2,240	4,520	委託料	4,254,949 円		
	総事業費（①+②）		9,869	9,579	7,492	10,132	備品購入費	289,960 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
		2年度までの累積事業費		0		十朋亭使用料				
4年度以降の事業費見込		0								
交付金				8,000 円						

会計名 一般会計			施設改修事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	文化観光課	
10	6	10					担当係	文化振興係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	文化芸術の拠点づくり						
	目的	十朋亭の改修を行うことで、利用者に快適な施設空間の提供を図る。			主たる内容	○1Fロビー床張替え ○照明器具取替工事 ○1Fトイレ改修工事			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	刈谷市十朋亭条例・刈谷市十朋亭条例施行規則						
		対象者				事業期間	令和2年度 ~ 令和2年度		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		_____		_____		・1Fロビー床張替え ・2F和室照明器具改修工事 ・1Fトイレ改修工事		_____	
成果		・十朋亭の2F照明のLED化で環境に配慮した仕様とした。1Fトイレの洋式化に伴い、手すり、ベビーチェアも配置し、誰もが使用しやすい施設とした。							
課題		・施設の老朽化に伴い、継続的かつ適切に改修を行っていく必要がある。							
指標		指標名称（単位）			実績値		目標値		
		30年度	元年度	2年度	3年度	5年度			
指標									
他市との比較検証	他市に同様の事例がないため、比較できない。								
C 事業コスト	単位：千円	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳			
	事業費 ①	0	0	3,746	0	合計	3,745,500 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	898,700 円	
		一般財源	0	0	3,746	0	工事請負費	2,846,800 円	
	職員人件費 ②	0	0	1,493	0				
	総事業費（①+②）	0	0	5,239	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0							
4年度以降の事業費見込		0							